

道の駅「だいとう」が令和7年4月17日にオープンしました！

道路環境課 ・ 県南広域振興局土木部 千厩土木センター

道の駅「だいとう」とは？

道の駅「だいとう」は、岩手県（道路管理者）と一関市が連携して、一関市大東町渋民地内の一般国道343号沿いに整備した道の駅です。令和7年1月31日付け道の駅第62回登録で、県内37駅目の道の駅として登録されました。

一般国道343号は、陸前高田市と奥州市を結ぶ路線であり、その中間に位置する道の駅「だいとう」は、沿岸部と内陸部をつなぐ交流の拠点施設としての役割や地元の特産品である原木しいたけをはじめ、農林産物や地域特産品の販売、観光・イベント情報の発信を行い、地域の活性化を推進します。

また、建物の耐震化や非常用自家発電設備、太陽光発電設備による無停電化、貯水槽、備蓄倉庫などを備えており、災害時には防災の拠点になるなど、様々な役割を果たすものと期待されています。

位置図



出典：国土地理院ウェブサイト(<https://www.gsi.go.jp/>)

概要

所在地：一関市大東町渋民字西風47番地1

面積：9,932㎡

施設：駐車場72台、トイレ26器
情報提供・休憩施設
情報提供・交流スペース
観光案内所
ベビーコーナー
非常用電源、備蓄倉庫
貯水槽、マンホールトイレ
公衆無線LAN、物販施設
飲食施設、キッズスペース
集会室、イベント広場
オープンテラス



オープン記念式典 テープカットの様子



道の駅「だいとう」外観